



進路だより

福島県立いわき支援学校
進路指導部

第3号

令和3年10月14日発行

小中学部教員 進路ミニセミナー

7月14日に、小・中学部の教員を対象にした進路ミニセミナーを行いました。セミナーでは、一般企業・A型事業所、B型事業所、生活介護事業所のグループに分かれて、高等部教員から進路学習の進め方や工夫した点等について話を聞きました。その後、高等部の先生方を交えて、小・中学部の先生方が担当している児童・生徒の将来を見据えた進路指導の進め方などについて意見交換を行いました。

セミナーの内容や意見交換で出た話題の一部を紹介します。

・生活介護事業所は利用者10人に対して2～3人の職員、B型事業所は利用者10人に対して1人の職員が担当するので、できるだけ1人でできることを増やしていく必要がある。

※「衛生面」、「集団活動」、「他者の言葉（促し）を受けて行動できるか」、「時間（時計）を見て行動できるか」、「自分の気持ちを相手に伝えられるか」、「一定時間作業に取り組めるか」等。

・生徒自身が自己理解を深められるよう指導・支援していき、実習先において第三者の評価を基に生徒自身や保護者と進路決定に向けて連携を図り、できることをより広げていくことが大切である。

※高等部では、作業学習について「スキルチェックシート」を使用して生徒の自己理解を促し、保護者の方と連携して改善を図っていくようにしている。など



関係機関への登録について

企業及び就労継続支援A型事業所への就労を希望する場合、高等部3学年の夏季休業中に関係機関への登録を行っています。今年度は高等部3年生10名が登録を行いました。

就労にかかわる関係機関として「ハローワークいわき」と「いわき障害者就業・生活支援センター」では、就労支援や生活支援を行っています。

登録に関するQ&A

Q1 登録は誰が参加しますか？ またどのような方法で行いますか？

A1、登録を行う際は、生徒及び保護者、学級担任等が関係機関の担当職員と個別面談を行います。

Q2 登録はどのような方法で行いますか？ また準備物はありますか？

A2、登録をするにあたっては、各関係機関の登録用紙への記入が必要になります。本校では、生徒自身が登録用紙に記入し、保護者の方に最終確認をしてもらっています。その他の準備物として、療育手帳のコピーや産業現場等における実習評価表なども必要になります。

Q3 個別面談では、どのような質問を受けますか？

A3、個別面談では、希望の業種・職種や働き方、希望勤務地、これまでの産業現場等における実習の感想等が質問される場合が多いです。自分がどのように働いていきたいかについて、自分の言葉で説明できるように、保護者の方と相談しておきましょう。



高等部 前期産業現場等における実習について

高等部2学年は6月28日(月)～7月9日(金)の10日間、「前期産業現場等における実習」を行いました。今回の実習では、初めて10日間の校外実習を行いました。自分の得意なことや課題に気付くことができる貴重な経験になったと思います。また、今回経験したことを後期の実習や進路選択・決定に生かして行ってほしいと思います。実習の目標は一人一人違いますが、「働く」意識を身に付けるための大切な学習の場になりました。なお、産業現場等における実習は、企業、事業所のご厚意により行われています。

<令和3年度 前期校外実習先・活動内容の一例>

種類別	企業・事業所名	活動内容
一般企業	株式会社 マルト	商品品出し、補充、在庫管理
就労継続支援A型事業所	ふわり	内職作業、魚の加工業務、農園作業、コーヒー製造
就労継続支援B型事業所	サポーターステーションあい一番	段ボール作業
生活介護事業所	いわき学園	ゴム製品のバリ取り、袋詰め

<実習中の生徒の様子>



中学部 ワーキングウィーク

中学部では、9月6日(月)～10日(金)の期間にワーキングウィークを行いました。普段行っている作業学習を1日通して行うという形で、家庭班、紙工班、クラフト班の3班に分かれて5日間の校内実習を行いました。1年生は初めての校内実習、2年生、3年生は2回目、3度目の校内実習となり、一人一人が目標達成に向けて実習に取り組む様子が見られました。3年生につきましては、校内実習期間に、「産業現場等における実習」を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止となりました。残念ではありましたが、校内実習の中で挨拶や報告をしっかりとしたり、言葉遣いや身だしなみに気を付けたりするなど、1・2年生の見本となる姿勢を見せてくれて、身の引き締まる有意義な実習となりました。

また、新型コロナウイルス感染症防止のため、各作業班の第1班と第2班をさらに2つの教室に分け、一人一人が安全面、衛生面に気を付けながら作業に取り組むことができました。



【この「進路だより」は、高等部サービスワーク班が製作しました。】